

新刊紹介

『横浜市史資料室 紀要第二号』

横浜市史資料室では、昨年に引き続き、横浜の昭和史に関する研究成果をまとめた、『横浜市史資料室 紀要第二号』を刊行しました。今年も、論文の他所蔵資料の紹介、活動記録などを掲載しています。

今回の紀要には、元横浜市長飛鳥田一雄氏へのインタビュー原稿を収録しています。こちらは今まで未公開の資料で、飛鳥田氏の市政に対する考えを知ることができる貴重な資料です。インタビューをされた鳴海正泰氏による解説と、飛鳥田市政の論考も掲載しており、昭和三十八年から二五年間の飛鳥田市政時代の研究に、非常に有益な内容となっています。

また、論文「横浜における進駐・占領」では、横浜への進駐・占領の過程を紹介しています。米軍の軍事施設が開設され、また将兵とその家族が暮らすため、横浜が米軍の街として形成されていく様子を知ることが出来ます。横浜に進駐した米第八軍とアイケルバーガー司令官の具体的な役割を知ることができ、非常に興味深い内容となっています。

ただいま、市史資料室では、写真パネル展「占領軍のいた街―戦後横浜の出發―」を開催中です。展示とあわせてご覧いただくことで、戦後横浜の米軍の街と日本の暮らしをより深く知ることが出来ます。論文とあわせ、展示会もぜひご覧ください。

論文「昭和初期神奈川県における史蹟

名勝天然紀年物の普及事業」では、史蹟名勝天然紀年物保存協会神奈川県支部による、史蹟名勝めぐりの実態を紹介しています。一覧表も掲載し、具体的にいつ・どこへ・何名などの詳細を知ることが出来ます。

論文では、戦前・戦中における史蹟名勝めぐりの状況や、協会の変遷を紹介するとともに、市史資料室で所蔵する「史蹟名勝めぐり」関係資料の紹介も行っています。資料には、参加者が訪れた場所から持ち帰った史蹟案内や、協会の配付物などが含まれています。資料閲覧の際には、事前に横浜市史資料室までご連絡ください。

資料紹介「丹羽鋤彦と帝都復興②」では、昨年度に引き続き、関東大震災関連の資料紹介を行っています。論文では関東大震災の復興を担う帝都復興院の概要、及び帝都復興院参与会の活動を紹介します。資料全文の翻刻も掲載され、内容をすることも出来ます。横浜の関東大震災に関する研究に、ぜひご利用下さい。

「横浜市史資料室の活動記録」では、平成二二年四月から平成二四年一月までの市史資料室の活動をまとめて報告しています。閲覧室の利用状況などのほか、市史資料室の行った事業、その概要や成果を掲載しています。また、資料を寄贈していただいた方々のお名前も、資料の内容とともに掲載しています。

『横浜市史資料室紀要』は、今年度も様々な視点から横浜の昭和史を紹介しています。ぜひご覧いただき、昭和の横浜の研究調査などに活用ください。(木許 文子)

ページでは、広報課写真の紹介を新たに掲載しました。その他コンテンツも充実しております。ぜひご覧ください。

【横浜市史資料室刊行物販売のお知らせ】

横浜市史資料室で発行した刊行物、写真集(1冊:2,000円)、紀要報告書(1冊:500円)は、市民情報センター(横浜市役所1階)の他、横浜開港資料館、横浜都市発展記念館、横浜市歴史博物館、横浜市中央図書館ふれあいショップのげやまで販売しています。

◇ 休室日のご案内 ◇

8月20日(月)、9月18日(火)、19日(水)、10月9日(火)、11月19日(月)、12月25日(火)

【寄贈資料】

- 1 刈部 正様 老松小学校関係写真等複写写真 194点
- 2 白井 晟也様 横浜市新市庁舎落成記念鑄銅文鎮 1点
- 3 澁谷 欣征様 ガラス乾板6点(関東大震災)
- 4 田頭喜久彌様 主要食糧選択購入切符他 7点
- 5 吉家 俊男様 写真3点
- 6 幸田 喜一様 大東亜戦争割引国庫債券 二十円、教育費用在学証明書 他 23点

《市史資料室たより》

横浜市史資料室では、展示会「占領軍のいた街―戦後横浜の出發―」を開催しております。

展示では、占領下にあった横浜の諸相を、占領軍(米軍)と日本側それぞれの眼を通して、写真パネルでご紹介しています。

展示写真はおよそ120点に及び、既にご覧いただいた方の中には、非常に興味深く、何度か来場されているという方もいらっしゃいます。占領下横浜の街並と暮らし、また戦後の占領期を経て復興に至る横浜の歴史を、ぜひご覧ください。

また展示期間中に、展示解説と講演「占領の中の横浜-神奈川」も開催いたします。スライド上映で、展示写真から占領下横浜の諸相をご紹介します。あわせて講演では、占領のなかで横浜-神奈川がどのような位置-役割を果たしていたかを、主に米軍側から解説し、また、占領下にどのような文化が育まれたかを、横浜-横須賀、相模原などの事例から解説します。

展示解説と講演で、展示の内容をより深く理解するとともに、占領下の横浜や、神奈川と米軍基地との関係について考えるきっかけとなるのではないのでしょうか。皆さまのご参加をお待ちしております。

【展示会・展示解説と講演のお知らせ】

横浜市史資料室では、平成24年度展示会「占領軍のいた街―戦後横浜の出發―」を開催中です。

会期:2012年7月18日(水)~9月17日(月)

休館日:8月20日(月)

開場時間:9時30分~17時

会場:横浜市中央図書館ホール前ホワイエ(地下1階)

横浜市史資料室内展示コーナー

協力:横浜開港資料館、横浜都市発展記念館

◎入場無料 ◎写真パネルでの紹介

展示解説と講演

「占領の中の横浜-神奈川」

日時:2012年8月18日(土)、13時~16時45分

(開場 12時30分)

会場:横浜市中央図書館ホール(地下1階)

◎定員200名(先着順) ◎参加費無料

〈第一部〉13時~14時15分

スライド上映「占領軍のいた街横浜」

解説:羽田博昭(横浜市史資料室主任調査研究員)

〈第二部〉14時30分~16時45分

展示関連講演

「占領軍にとつての横浜-神奈川」栗田尚弥氏(國學院大学講師)

「占領下の文化-映画・音楽・ファッション-」大島英夫氏(茅ヶ崎市史編集員)

お問い合わせは:045-251-3260(横浜市史資料室)

【横浜市史資料室ホームページリニューアルのお知らせ】

横浜市史資料室のホームページをリニューアル、随時更新中です。「写真で見るとの横浜」